

信州ガイド

佐久高出

清水の日本

2軍もキャンプイン

ヤクルト2軍キャンプが1日、神宮サンプラザでスタートした。今年1月1日にトレーナー契約を結んだ佐久高出身の清水克彦さん(23)も「神宮デビュー」。高校時代は借しこも甲子園出場を逃し、悔し涙を流した男が「プロの世界で日本」を指す。

高校時代果たせなかった夢へ「神宮デビュー」

「選手と美酒を」

今にも雪が降り出しそうな冬空の下、選手1人々々に目を配りながら練習の補助をする清水トレーナー。

「特に気負いはありません。毎日が緊張の連続です。乗ってあげられるようなトラ」と言いながらも「プロ入り」1カ月で迎えたキャンプにやる気みなぎる。そして「早く選手の信頼を

得て、治療以外でも相談に乗ってあげられるようなトレーナーになりたい」と野球人として再出発する抱負を述べた。

清水さんは佐久高出で1年の秋からベンチ入りし、2年の秋季県大会で優勝するなどエース級としてチームを引っ張ってきたが、3年の夏、突然ベンチから外され初めて挫折を味わった。

そのショックに「今までずっとトップでやってきたから、野球を無理に続けたらしょうがない」という思いと、一方で「本当に野球が好きだったから、大学へ行って屈辱を晴らしたい」という思いで悩める日々を送った。そして両親にも相談し、野球をやめることを決意。医学の道を目指したが、そんな時、知り合いのドクターからトレーナーの話が舞い込んだ。「めったにないチャンスだったのだからやってみよう」と一度はあきらめた野球の世界に戻ることにした。

一時は医学の道

高校時代に達成できなかった「日本」の夢を託し「やるからには一軍へ上がって選手と一緒に美酒をあげたい」と清水さんは「選手の気持ちを大切に」して、精神的支えになってあ

「高校時代に達成できなかった「日本」の夢を託し「やるからには一軍へ上がって選手と一緒に美酒をあげたい」と清水さんは「選手の気持ちを大切に」して、精神的支えになってあ



練習中に足がつった選手のケアをするヤクルト・清水トレーナー

「進ずる。(板橋 友紀子)」

◇長野県出身のプロ野球選手◇